



晴天に恵まれ、大勢の登山者でにぎわった七時雨山山頂

# 話題

## ピックアップ

### まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。  
☎・内線1202まで。

## 登山シーズンスタート

### 七時雨山山開き・八幡平山開き

七時雨山(1,063m)の山開きは5月27日、西根寺田登山口で行われ、家族連れや登山関係者など約50人が参加。山頂では、市山岳協会から登頂者に記念の絵馬などが配られ、山開きを祝いました。

八幡平(1,613m)の山開きは6月1日、山頂レストハウスで行われ、本市と秋田県鹿角市の観光、山岳関係者など約100人が参加。雨と濃霧により山頂セレモニーは中止となりましたが、有志約20人が登頂し、万歳三唱で登頂を祝いました。



本市と鹿角市の山岳会有志が八幡平山頂で祝いました



安代りんどうの花育学習を紹介する宮野さん(左から3人目)

## りんどう花育を広めたい

### 市キャリア教育推進協議会

市キャリア教育推進協議会は6月11日、市役所で開催されました。

児童・生徒の社会的・職業的自立に向け、能力育成に取り組む市内小・中学校や高校の教諭など27人が参加。情報提供者であるJA新しいわて八幡平花卉生産部会青年部の宮野亜由美さんは、安代小・田山小で実施している花育学習を紹介しました。宮野さんは「花育学習の体験が安代りんどうへの就農につながることを願い、市内全域にも広めたい」と呼び掛けました。



花を楽しみに多くの人が訪れました(6月22日、あしるhana花フェスタ2018、熊谷睦子さん宅バラ庭園)



ヤギの背中をなでながら「かわいい」と喜ぶ園児たち(6月8日、松野保育所親子遠足、盛岡市動物公園)



田山小4年生の児童9人が安代りんどうの苗植えなどを体験しました(6月13日、安代りんどう花育学習)





園歌「杉の子の歌」を元気いっぱいに歌う4歳児たち

## 地域を礎に新園舎落成

杉の子保育園・大更保育園園舎落成式

(福)杉の子会は6月16日、大更保育園で関係者ら約130人が出席し、杉の子保育園の建て替え、大更保育園の改築および両園の園庭整備の落成を祝いました。

園舎の完成に伴い、杉の子保育園は60人から90人へ、大更保育園は90人から100人へと定員増となり、今年度の待機児童数を減少することができました。

遠藤一子理事長は、関係者へ感謝の言葉と子どもたちを健やかに育む決意を述べ「これまでどおり、地域との結びつきを礎としていきたい」と声を弾ませました。

## ふるさと納税者を歓迎

八幡平市魅力発見！魅ステリーツアー

市は6月6、7日の両日、ふるさと納税者を対象に市の魅力を体験・発信してもらうことで、観光振興や定住促進につなげようと魅ステリーツアーを開きました。

東京圏を含む17人の参加者が、残雪ウォーキングやわらび採りを体験。ふるさと納税の返礼品梱包作業を激励後、地元食材による田舎料理などを堪能しました。

参加者の「また来たい」の声に、返礼品提供者やツアー協力者らは、喜びを表すとともに今後の生産、次回のツアーに向けて、おもてなしの意欲を高めました。



障がい者らの自信につながる返礼品梱包作業の激励



シャボン玉をつかまえようとはしゃぐ子どもたち

## 若者たちが活気呼び込む

大更まちなかマルシェフーガの休日

大更商店街未来を創る会は6月10日、フーガの広場で「大更まちなかマルシェフーガの休日」を開催し、約400人の来場者でにぎわいました。

遠藤忠寿実行委員長は「楽しいことをすれば自然に人は集る。これをJR大更駅周辺の再開発の起爆剤としたい」と期待を込めます。イベントではさまざまなジャンルの楽曲を流す中、地元食材を使った飲食の販売、陶芸体験などのブースや子どもが遊べるテントも設置。子どもたちの喜ぶ声で、会場内に笑顔が広がりました。

## 演劇で大切なものを学ぶ

青少年劇場

青少年劇場は6月5日、西根中体育館で開かれ、市内4つの中学校の1年生189人が、演技集団「朗」による演劇「約束～大切なもの～」を鑑賞しました。

物語は、約束を通じて信じあう絆、親子、友情など大切な守るべきことを伝える内容。鑑賞後、西根中の大志田昇さんは「約束の大切さに改めて気付かされました」と生徒代表であいさつし、謝意を表しました。同イベントは、演劇のほか音楽や伝統芸能などの生の芸術を全国各地で巡演しています。



公演後は出演者に大きな拍手が送られました

## 少し身近に南極の世界

寄木小で南極クラス開催

南極観測隊員が現地での体験を伝える「南極クラス」は6月1日、寄木小で開かれました。

講師は、ミサワホームから派遣され、同隊員として活動した井熊英治さん。映像を使って、南極の自然環境や隊員の暮らしについて分かりやすく解説しました。南極の氷の気泡のはじける音を確認したり、防寒着を試着したりと体験も行われ、4年生の田中愛彩さんは「知らなかったことがたくさん分かった。大人になったら行ってみたい」と目を輝かせました。



空気が澄んでいる南極では吐いた息が白くならない

## プロと触れ合う夢の時間

パナソニックワイルドナイツ合宿

ジャパンラグビートップリーグの強豪パナソニックワイルドナイツは6月11日から15日まで、本市で3回目となる合宿を行いました。

13日には交流事業として、盛岡市内3つの高校ラグビー部へキックやパスなど基礎の大切さを直接指導。その後、市ラグビースポーツ少年団とタグラグビーを行い、親睦を深めました。大更小3年の工藤慧君は「一緒にゲームができて楽しかった。パナソニックの選手のようにうまくなりたい」と目を輝かせました。



相馬朋和ヘッドコーチからパスの出し方を教わる高校生

## すなっぶギャラリー



第11回旧車ミーティング in 八幡平で300台超の旧車が整列(6月17日、岩手山焼走り国際交流村特設会場)



安代小児童の「大きくなってね」の声で元気に飛び出すアユの稚魚(6月18日、安比川アユの放流会)



自衛官募集相談員7人(欠席者含む)に田村正彦市長から委嘱状が交付されました(6月14日、市役所)



岩手山焼走り国際交流村に国内外の最新バイクが集結(6月10日、IWATEモーターサイクルフェスタ)



レンゲツツジが満開の安比高原中のまきばを馬車で巡る体験会(6月10日、馬と芝とレンゲツツジ祭)